

3. 論文の採否：論文の採否は Editorial board のメンバーによる査読審査の結果に従い決定される。ただし、シンポジウムなどの記録や治験論文については編集部で採否を決定する。
4. 論文の訂正：査読審査の結果，原稿の訂正を求められた場合は，40日以内に，訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて，前記泌尿器科紀要刊行会宛て送付すること，なお，Editor の責任において一部字句の訂正をすることがある。
5. 採択論文：論文が採択された場合，原稿を3.5インチフロッピーディスク・MO ディスク・CD-R・CD-RW のいずれかに保存し，編集部へ送付する。ディスクには論文受付番号・筆頭著者名・機種名・ソフトウェアとそのバージョンを明記する。Windows の場合は MS-Word・一太郎，また Macintosh の場合は EG-Word・MS-Word とし，特に Macintosh においては MS-DOS テキストファイルに保存して提出すること。
6. 校正：校正は著者による責任校正とする。著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する。
7. 掲載：論文の掲載は採用順を原則とする。迅速掲載を希望するときは投稿時にその旨申し出ること。
 - (1) 掲載料は1頁につき和文は5,775円(税込)，超過頁は1頁につき7,350円(税込)，写真の製版代，凸版，トレース代，別冊，送料などは別に実費を申し受ける。
 - (2) 迅速掲載には迅速掲載料を要する。5頁以内は31,500円(税込)，6頁以上は1頁毎に10,500円(税込)を加算した額を申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果，測定試薬の成績，治療機器の使用などに関する治験論文および学会抄録については，掲載料を別途に申し受ける。
8. 著作権：当誌に掲載する著作物の複写，複製，転載，翻訳，データベースへのとりこみ及び送信等の権利は，泌尿器科紀要刊行会に帰属するものとする。
9. 別刷：30部までは無料とし，それを超える部数については実費負担とする。著者校正時に部数を指定する。

編 集 後 記

早いもので今年ももう終わろうとしている。今年最後の編集後記だけは、明るい話題で締めくくろうと思っていたが出来そうもない。世界はサブプライムローンの問題で大きく景気後退し、日本は政治の指導力不足で何の打開策も打ち出せていない。医療、介護、年金も、問題点のみ次々と指摘されるのみで、国民が納得できるような解決策は何も無い。このままだと大量に自殺者が増えるのではないかと危惧している。その中での日本トップの「医師は社会的常識無い」発言である。怒りを通り越して、脱力感を感じた医師も多いのではないだろうか。

学生時代にうどん屋さんで食事をした時、山椒(さんしょ)という漢字が読めず恥ずかしい思いをした。デート中の家内には軽蔑の眼差しを向けられた。それ以来、家庭での私は、漢字を知らない、それこそ常識なしの人間で通っている。A首相も恥ずかしい思いで一杯だろう。汚名はそう簡単には払拭できないので、恥ずかしい時には早めに退いたほうが良いように思うのだが。

(小川 修)